



校長先生、大いに語る！ ～進路講話①・先輩から学ぶ～

6月5日(金)の総合・LHでは、今年最初の進路講話を行いました。新型コロナウイルスへの対策として当面は外部講師を招かず校内の教員で対応することにしたことで、田頭校長先生に人生の先輩として講師を務めていただきました。

校長先生は人生の先輩として、①なぜ高校で勉強をするのか？②高校の勉強は、必要か？③どんな生徒であってほしいか④高校で経験すること、の4点を、生徒に問いかけながら熱く語られました。



生徒に語りかける田頭校長先生



真剣に話を聞く生徒たち

校長先生の話を通い時間聞くことはほとんどないだけに、生徒には貴重な経験となりました。誰一人として居眠りすることなく校長先生に視線を向けて最後まで聞きました。

時間はあっという間に過ぎ、最後に「余談」と称して、校長先生の中学・高校時代の様子や経験したことを話されました。更に、卒業予定者に対するエールとして、「志望動機は『告白』、相手を調べることは大切、一生懸命絞り出す、この方が思いが伝わる」、「道は一つではない、自分に合ったルートを見つける」、「相手が自分と仕事をしたいと思ってもらう」、「何になりたいかわからないが何かを決めて卒業する。『決める』ということは『捨てる』こと」などなど、進路を考える上で貴重な内容を話されました。

生徒は、振り返りシートにたくさんの感想を書いてくれました。

- ・自分がしたいことをしっかりと卒業までにゆっくり決めていきたい。
- ・今、辛い思いをしていますが、今後の人生の役に立つということを聞いて、やる気ができました。
- ・今、目の前にある事を全力で取り組むことが大事を聞いて、自分もがんばろうと思いました。でも、時代の流れで変わっていったことがダメなのかな？とも思います。今はコ

ロナで先生と雑談できないので、たくさんしゃべりたいです。

- コミュニケーションは、「投げるだけになっていないか」、「相手から返ってくる前に投げていないか」、「相手が取れるボールを投げているか」ということを考えることが大事だとわかりました。成功も大事だけど、失敗が大事だとわかりました。頑張ろうと思いました。
- 数学と英語が苦手ですが、今以上に努力したいと思った。
- どんまいって言ったらダメ。キャッチボール大事、相手が取れるように。忙しいと言わない、思わない。今、目の前にある事に取り組む。
- 数学が嫌いだけど、ちょっとずつがんばろうと思った。あきらめない！！
- ためになった。すごい人だと思った。
- 高校では、人間関係、人間的視野、友人関係、職業選択などが身につくことがわかった。
- 野球に例えられてよく分からなくなった。
- 流石、校長先生！！聞き入ってしまいました。ためになるお話、ありがとう。私も、今すべきことを全力でしていきたいです。
- 失敗体験は凄く大切だと思います。最近の子どもは、特に受け止める力がないと思います。
- 具体的な例を出して、わかりやすく話していただいたので、とてもよかったですと思います。
- 今日話を聞いて、高校に入るということは社会のためにコミュニケーションや企画力、リーダーシップなどの社会で役立つ力を身につけるために行く場所であり、身につけた力は将来の社会に役立つということを学びました。これからは、自分で選んだ道が正解になるようにしていきたいと思いました。
- 将来に直接使うことはないが、勉強しておいて損はない。
- 校長先生がおっしゃっていた、キャッチボールは受ける側の方に力が必要で、これは言葉にもあてはまるということを知ってとても共感できました。(中略)やっぱり先生方は、常識を備えている方が多いのだと感じました。

マスクの着用と熱中症対応について



先月末に「四国地方が梅雨入りしたとみられる」との発表があり、梅雨を感じる雨降りの日が多くなってきました。晴天の日と降雨の日では気温の差が激しく、体調の管理が今まで以上に必要です。四国地方の梅雨明けは、平年は7月18日頃のように、これから約一ヶ月はいまのような天候が続きます。

新型コロナウイルスへの対策として、「校内でのマスク着用」をお願いしています。文部科学省の『学校の新しい生活様式』にも、「基本的には常時マスクを着用することが望ましい。」とありますが、同時に「熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外してください。」と、**熱中症対策を優先する**よう示されています。暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸するなど、熱中症にならないよう自身の判断で対応して構いません。